

# 平成20年度文部科学省所管予算案における成果目標等

No.	政策名	成果目標	成果目標を達成するための手段	成果目標の達成度合いの事後的な評価方法	20年度予算額(千円)
1	I-1 教育改革に関する基本的な政策の推進等	改正教育基本法の理念の下、豊かな人間性を備えた創造的な人材育成のための教育改革を推進するため、改正教育基本法や教育振興基本計画をはじめ、教育改革についての周知・啓発を図る。また、教育統計調査の整備及び着実な実施を図るため、教育行政政策の企画立案等に必要基礎情報を収集するとともに、国民に広く提供する。	施策を構成する事務・事業の遂行。 ・ 教育改革の総合的推進 ・ 教育調査統計の普及等 ・ 地方教育費及び行政の実態調査 ・ 指定統計調査 ・ 政府統計共同利用システムの整備 等	文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。 〔主な指標・参考指標〕 ・ 改正教育基本法の周知度 ・ 同法を受けた制度改正や教育振興基本計画の内容に関する周知度 ・ これらを踏まえた、教育改革に関する国民の関心度・理解度 ・ 統計調査の実施状況 ・ 統計調査の回収率 ・ オンライン調査の利用率 ・ 統計調査の見直し状況 ・ ホームページへのアクセス件数 ・ 過去の報告書の電子化件数 等	300,891  (2,322,418)の内数
2	I-2 生涯を通じた学習機会の拡大	高度で体系的かつ継続的な学習機会を提供する高等教育機関等において、学習者のニーズに対応し、生涯を通じた幅広い学習機会を提供する。	施策を構成する事務・事業の遂行。 ・ 大学・専修学校等における再チャレンジ支援推進プラン ・ 再チャレンジのための学習支援システムの構築 ・ 放送大学学園補助 ・ 高等学校卒業程度認定試験等 ・ 専修学校教育重点支援プラン 等	文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。 〔主な指標・参考指標〕 ・ 放送大学の評価システム構築に向けた実施計画年度の実施状況 ・ 専修学校の学科数、科目等履修生の数 等	11,349,237
3	I-3 地域の教育力の向上	多様な学習活動の機会や情報提供、様々な機関・団体が連携することにより、地域における学習活動を活性化させ、地域における様々な現代的課題等に対応すると共に、総合的に地域の教育力の向上を図る。	施策を構成する事務・事業の遂行。 ・ 「学びあい、支えあい」地域活性化推進事業 ・ 地域ボランティア活動支援センターの在り方に関する特別調査研究 ・ 放課後子ども教室推進事業 ・ 団塊世代等社会参加促進のための調査研究 ・ 学校支援地域本部事業 等	文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。 〔主な指標・参考指標〕 ・ 「人権教育推進のための調査研究事業」の実施事業数 ・ 「NPOを核とした生涯学習活性化事業」の委託件数及び本事業で構築した協働関係が委託終了後も継続した団体数 ・ 放課後子ども教室の実施箇所数 等	13,516,848  (2,322,418)の内数
4	I-4 家庭の教育力の向上	近年の都市化、核家族化、少子化、地域における地縁的なつながりの希薄化等を背景として、親の間に、子育てに関する悩みなどが広がっていることが指摘されている。このため、政策評価(事業評価)における達成目標に掲げた家庭教育に関する支援の充実を図り、子育て中の親の悩みや不安感を解消し、家庭教育に取り組むことができるようにする。	施策を構成する事務・事業の遂行。 ・ 地域における家庭教育支援基盤形成事業 ・ 家庭教育支援指導者養成標準カリキュラム開発事業 ・ 家庭教育手帳の作成 ・ 家庭教育の活性化支援等に関する特別調査研究 ・ 子どもの生活リズム向上プロジェクト	文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。 〔主な指標・参考指標〕 ・ 家庭教育手帳の利用状況等 ・ 「早寝早起き朝ごはん」国民運動webサイトへのアクセス数(1日平均) 等	1,492,301
5	I-5 ITを活用した教育・学習の振興	ITに関連する教育・学習の振興とITを活用した教育・学習の振興。	施策を構成する事務・事業の遂行。 ・ デジタルテレビ等を活用した先端的教育・学習に関する調査研究 ・ メディアを通じた生涯学習コンテンツ普及事業 ・ 教育用コンテンツ活用・奨励事業 等	文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。 〔主な指標・参考指標〕 ・ デジタルテレビを活用した授業実践事例数 ・ 優れたIT活用教育実践の応募数 ・ 教育に利用される映画・ビデオテープ等の教育用コンテンツの応募数 等	293,101  (2,322,418)の内数

# 平成20年度文部科学省所管予算案における成果目標等

No.	政策名	成果目標	成果目標を達成するための手段	成果目標の達成度合いの事後的な評価方法	20年度予算額(千円)
6	Ⅱ-1 確かな学力の育成	基礎・基本を徹底し、自ら学び自ら考える力などまで含めた「確かな学力」を身に付けさせる。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校における英語活動等国際理解活動推進プラン</li> <li>・ 全国的な学力調査の実施</li> <li>・ 義務教育教科書購入等</li> <li>・ 教員の子どもと向き合う時間の拡充のための退職教員等外部人材活用事業</li> <li>・ 学校教育情報化推進総合プラン 等</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>〔主な指標・参考指標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育課程実施状況調査の結果</li> <li>・ 生徒の学習到達度調査(PISA)の結果</li> <li>・ 国際数学・理科教育動向調査(TIMSS)の結果</li> <li>・ 習熟度別指導を実施している学校の割合</li> <li>・ 公立小・中学校図書館の蔵書数</li> <li>・ 公立小・中学校全体で全校一斉読書活動を実施している学校の割合</li> <li>・ 生徒の実践力の向上や勤労観・職業観の醸成が図られたと回答した学校数</li> <li>・ モデル事業における連携協力機関数 等</li> </ul>	<p>49,840,433</p> <p>(2,322,418)の内数</p>
7	Ⅱ-2 豊かな心の育成	他人を思いやる心、生命や人権を尊重する心、自然や美しいものに感動する心、正義観や公正さを重んじる心、勤労観、職業観など、子どもたちに豊かな人間性と社会性を育むための教育を実現する。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道徳教育実践研究事業</li> <li>・ 「未来を拓く心」を育てる支援活動の充実(心のノート)</li> <li>・ 豊かな体験活動推進事業</li> <li>・ キャリア教育実践プロジェクト</li> <li>・ 高等学校におけるキャリア教育の在り方に関する調査研究 等</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>〔主な指標・参考指標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校において体験活動を実施している平均日数</li> <li>・ 人権教育総合推進地域、人権教育研究指定校の成果のうち、教育委員会が研修や協議会等で普及を図った割合</li> <li>・ 職場体験の実施状況(公立中学校)</li> <li>・ インターンシップの実施状況(公立全日制高等学校) 等</li> </ul>	<p>2,311,464</p>
8	Ⅱ-3 児童生徒の問題行動等への適切な対応	学校・家庭・地域社会が一体となって、学校における暴力行為・いじめ等の問題行動及び不登校を解決する。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スクールカウンセラー等活用事業補助</li> <li>・ 問題を抱える子ども等の自立支援事業</li> <li>・ 不登校等への対応におけるNPO等の活用に関する実践研究事業</li> <li>・ いじめ対策緊急支援総合事業</li> <li>・ スクールソーシャルワーカー活用事業 等</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>〔主な指標・参考指標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公立中学校におけるスクールカウンセラーの配置校数</li> <li>・ 公立小・中学校における、学校、教育支援センター等の学校内外の機関で相談、指導、治療を受けた不登校児童生徒数</li> <li>・ サポートチーム結成件数 等</li> </ul>	<p>5,976,954</p> <p>(2,322,418)の内数</p>
9	Ⅱ-4 青少年の健全育成	青少年の心と体の健全な発展を促し、自主性・社会性や正義感・倫理観を持った豊かな人間性を育むため、青少年の自立への支援、青少年を取り巻く有害環境対策の推進、自然体験活動の充実、子どもの読書活動の推進、青少年の国際交流の促進等により、青少年の健全な育成を推進する。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青少年体験活動総合プラン</li> <li>・ 青少年元気サポート事業</li> <li>・ 青少年交流推進事業</li> <li>・ 子ども読書応援プロジェクト</li> <li>・ 青少年を取り巻く有害環境対策の推進 等</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>〔主な指標・参考指標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ひきこもり青年、不登校児童・生徒、ニート等の自立に支援を要する青少年を対象とした体験活動の取組を実施した都道府県数(対前年伸び率)、参加者数、当該事業による改善の状況</li> <li>・ 青少年の発達段階に応じた自然体験活動の参加者の状況</li> <li>・ 海外に青少年を派遣、招へいた国・人数</li> <li>・ 全国読書フェスティバル参加者数の推移</li> <li>・ 市町村等における子どもの読書活動推進に関する調査研究の実都市町村数</li> <li>・ 子どもの読書活動推進計画の策定状況</li> <li>・ 当該年度に青少年を取り巻く有害環境対策に係る推進体制を整備した都道府県数</li> <li>・ 構築された多様な体験活動を行うことができる継続的活動の場(居場所)の数</li> <li>・ 立ち直り支援事業に参加した非行青少年の状況</li> <li>・ 自然体験活動の指導者の養成・登録制度における新規登録の指導者数</li> <li>・ 自然体験活動に資する場所の登録件数</li> <li>・ 自然体験活動に参加した青少年の割合 等</li> </ul>	<p>695,064</p>

# 平成20年度文部科学省所管予算案における成果目標等

No.	政策名	成果目標	成果目標を達成するための手段	成果目標の達成度合いの事後的な評価方法	20年度予算額(千円)
10	Ⅱ-5 健やかな体の育成及び学校安全の推進	児童生徒が健康で安全な学校生活を送れるような条件整備及び生涯にわたって健康で安全な生活を自ら営んでいくための知識や態度の育成を行う。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校保健の推進</li> <li>・ 学校安全の推進</li> <li>・ 食育の推進</li> <li>・ 災害共済給付事業</li> <li>・ 日本学校保健会補助</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>[主な指標・参考指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公立中学校・高等学校における薬物乱用防止教室の開催率</li> <li>・ 栄養教諭免許状取得者の増加率</li> <li>・ 学校給食における地場産物の使用割合</li> <li>・ 防犯のマニュアルを活用している学校の割合</li> <li>・ 子どもの安全対応能力の向上を図るための取組の実施状況</li> <li>・ 通学路の安全点検の実施状況</li> </ul>	5,336,398
11	Ⅱ-6 地域住民に開かれた信頼される学校づくり	地域や子どもたちの実情に応じた教育を可能とする特色ある学校づくりや自主的・自律的な学校運営を実現するとともに、保護者や地域住民が学校運営の状況について把握し、積極的に参画できるようにする。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校評価システムの構築</li> <li>・ コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)推進プラン</li> <li>・ 初等中等教育改革推進事業 等</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>[主な指標・参考指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校評価実施状況調査における学校関係者評価実施率(公立学校)</li> <li>・ コミュニティ・スクール指定件数 等</li> </ul>	823,460
12	Ⅱ-7 魅力ある優れた教員の養成・確保	児童生徒や保護者からの尊敬と信頼を得られるような優れた資質能力を有する教員を養成・確保するとともに、能力と実績に応じた評価と処遇を行うことを通じて教員のやる気と能力を引き出す。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員免許更新制の円滑な実施</li> <li>・ 教員研修に係る調査研究等</li> <li>・ 教員資格認定試験</li> <li>・ 教員の勤務負担軽減に関する調査研究事業</li> <li>・ 教職員配置に関する企画並びに指導・助言に要する経費 等</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>[主な指標・参考指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学での教員研修(現職研修)の改善を目的とした大学との連携の取組を行っている都道府県・指定都市教育委員会の割合</li> </ul>	252,357
13	Ⅱ-8 安全・安心で豊かな学校施設の整備推進	児童生徒が安心して学習でき、教育内容・方法の多様化や社会のニーズに対応した学校施設・設備の整備を推進する。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公立学校施設整備</li> <li>・ 文教施設の防災対策の強化・推進 等</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>[主な指標・参考指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公立小・中学校における耐震化率</li> <li>・ 公立幼稚園における耐震化率 等</li> </ul>	347,158 (107,942,768)の内数
14	Ⅱ-9 教育機会の確保のための特別な支援づくり	特別な支援を必要とする対象に対して、それぞれに適した政策手段により、教育の機会を保障する。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ へき地児童生徒援助費等補助</li> <li>・ 要保護児童生徒援助費補助等</li> <li>・ 在外教育施設教員等派遣事業</li> <li>・ 在外教育施設派遣教員経費の委託</li> <li>・ 帰国・外国人児童生徒等教育の推進 等</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>[主な指標・参考指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公立学校における日本語指導が必要な外国人児童生徒数のうち学校で日本語指導等特別な指導を受けている児童生徒数の割合 等</li> </ul>	23,864,777

# 平成20年度文部科学省所管予算案における成果目標等

No.	政策名	成果目標	成果目標を達成するための手段	成果目標の達成度合いの事後的な評価方法	20年度予算額(千円)
15	Ⅱ-10 幼児教育の振興	骨太の方針等を踏まえ、幼稚園就園奨励費補助の拡充による保護者負担の軽減を図るとともに、幼児教育の改善・充実に資するための調査研究等を実施する。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園教育内容・方法の改善充実</li> <li>幼稚園就園奨励費補助</li> <li>幼児教育の改善・充実調査研究</li> </ul> <p>学校教育関連法令、幼稚園設置基準、幼稚園教育要領等における措置。 幼児教育に係る実態調査結果等を踏まえた政策立案や地方財政措置の要望。 各種会議等による指導助言。</p>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>[主な指標・参考指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園就園奨励費補助金制度における減免単価の改定率</li> <li>幼稚園就園奨励費補助金制度における第2子以降の優遇措置に係る負担率</li> <li>幼稚園就園奨励費補助金制度における第2子以降の優遇措置に係る適用条件の緩和状況</li> <li>認定こども園数 等</li> </ul>	19,307,436
16	Ⅱ-11 一人一人のニーズに応じた特別支援教育の推進	障害のある児童生徒一人一人の教育的ニーズに適したきめ細やかな指導等を行う特別支援教育を推進するため、関係機関と連携しながら、幼稚園から高等学校まで含めた体制整備や、特別支援学校の教育の専門性の一層の向上等を図る。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育就学奨励費負担等</li> <li>発達障害等支援・特別支援教育総合推進事業</li> <li>発達障害早期総合支援モデル事業</li> <li>高等学校における発達障害支援モデル事業</li> <li>職業自立を推進するための実践研究事業 等</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>[主な指標・参考指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園・高等学校における校内委員会設置率</li> <li>幼稚園・高等学校における特別支援教育コーディネーター指名率 等</li> </ul>	7,666,249
17	Ⅲ-1 義務教育に必要な教職員の確保	義務教育諸学校における学級規模と教職員の配置の適正化を図り、全国的な教育の水準の維持向上を図る。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>義務教育費国庫負担金</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>[主な指標・参考指標](調整中)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各都道府県における教職員定数の充足率</li> <li>各都道府県における少人数指導を実施している学校の割合 等</li> </ul>	1,679,576,000
18	Ⅳ-1 大学などにおける教育研究の質の向上	各高等教育機関の個性・特色の明確化に向けた改革の取組みなどを積極的に支援することや、事前・事後の評価の適切な役割分担と強調を確保すること等により、大学などにおける教育研究の質の向上を図る。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>質の高い大学教育推進プログラム</li> <li>大学教育の国際化加速プログラム</li> <li>グローバルCOEプログラム</li> <li>大学院教育改革支援プログラム 等</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>[主な指標・参考指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ファカルティディベロップメントの取組を行っている大学数</li> <li>厳格な成績評価(GPA)の取組を行っている大学数</li> <li>任期制を導入している大学数及び全体に占める割合</li> <li>任期を付して採用されている教員数及び全体に占める割合</li> <li>国立大学における外部資金比率の傾向(全大学の平均値)</li> <li>学長等の裁量の予算を設定している法人数</li> <li>学長等の裁量の定員・人件費を設定している法人数</li> <li>私立学校法改正及び関係法令の整備を受けて、寄附行為の変更を行った大臣所轄学校法人数</li> <li>大学等の設置届出及び認可の件数</li> <li>大学機関別認証評価実施数(専門職大学院) 等</li> </ul>	66,993,284
19	Ⅴ-1 意欲・能力のある学生に対する奨学金事業の推進	意欲ある学生への支援体制の整備(学生が経済的な面で心配することなく、安心して学べるよう、奨学金制度による意欲・能力のある個人に対する支援を一層推進する。)	(独)日本学生支援機構による奨学金事業の実施に必要な経費の措置	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>[主な指標・参考指標](調整中)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基準適格申請者に対する貸与率等</li> </ul>	130,899,306

# 平成20年度文部科学省所管予算案における成果目標等

No.	政策名	成果目標	成果目標を達成するための手段	成果目標の達成度合いの事後的な評価方法	20年度予算額(千円)
20	VI-1 特色ある教育研究を展開する私立学校の振興	私立学校振興助成法の趣旨に沿って、教育条件の維持向上、修学上の経済的負担の軽減及び経営の健全性の向上に資するため、経常費補助及び施設・設備整備への補助を行っている。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本私立学校振興・共済事業団補助</li> <li>・ 私立大学等経常費補助</li> <li>・ 私立高等学校等経常費助成費等補助</li> <li>・ 私立大学等研究設備等整備費補助</li> <li>・ 私立大学・大学院等教育研究装置整備費補助 等</li> </ul> <p>各種会議等による指導助言。 私立学校法等の各種法制度における税制。 学校法人に対する寄付にかかる税制上の優遇措置。</p>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>[主な指標・参考指標](調整中)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私立大学等における経常費補助予算額</li> <li>・ 私立大学等における経常的経費に対する経常費補助の割合</li> <li>・ 私立高校等における経常費補助予算額</li> <li>・ 私立高等学校等における経常的経費に対する経常費補助の割合</li> <li>・ 大学法人の帰属収入における外部資金の割合</li> <li>・ 財務情報等の一般公開を行っている文部科学大臣所轄学校法人の割合</li> <li>・ 帰属収入で消費支出を賅えない文部科学大臣所轄学校法人の割合</li> <li>・ 大学法人の総負債比率 等</li> </ul>	515,916,016
21	VII-1 科学技術関係人材の育成及び科学技術に関する国民意識の醸成	<p>&lt;科学技術関係人材の育成&gt;</p> <p>科学技術創造立国の実現に向けて、若手研究者や女性研究者、さらには外国人研究者などの多様多様な個人が意欲と能力を発揮できる環境を育成するとともに、初等中等教育段階から研究者等の育成まで一貫した総合的な人材育成施策を講じ、人材の質と量を確保する。</p> <p>&lt;科学技術に関する国民意識の醸成&gt;</p> <p>科学技術の社会的信頼を獲得するために、成人の科学技術に関する基礎的素養(科学技術リテラシー)を高める活動を推進する。また、幼少期から高齢者まで広く国民を対象として、科学技術に触れ、体験・学習できる機会の拡充を図る。</p>	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 科学技術関係人材の養成</li> <li>・ 優秀な理系学生の養成</li> <li>・ 目指せスペシャリスト事業 等</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>[主な指標・参考指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 博士号取得者等のキャリアパス多様化のための事業の実施機関数</li> <li>・ サイエンスチャンネルに関するモニター調査における「知識・教養」と「実用性」、「平明性」に関する5段階評価の平均値</li> <li>・ 博士課程の産業への就職者数</li> <li>・ 我が国における女性研究者割合 等</li> </ul>	2,516,078
22	VII-2 科学技術が及ぼす倫理的・法的・社会的課題への責任ある取組の推進	<p>科学技術の社会的信頼を獲得するために、生命倫理問題の社会的影響等科学技術が及ぼす倫理的・法的・社会的課題への対応を強化する。</p>	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ライフサイエンスに関する安全の確保及び生命倫理への取組</li> </ul> <p>関係指針(特定胚の取扱いに関する指針(特定胚指針)及びヒトES細胞の樹立及び使用に関する指針(ES指針)等)。</p>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>[主な指標・参考指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ES指針への違反件数</li> </ul>	35,366
23	VII-3 地域における科学技術の振興	<p>世界レベルのクラスターとして発展可能な地域に重点的な支援を行うとともに、小規模でも地域の特色を活かした強みを持つクラスターを各地に育成する。</p>	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知的クラスター創成事業(第I期)・(第II期)</li> <li>・ 都市エリア産学官連携促進事業</li> <li>・ 地域科学技術振興施策の評価</li> <li>・ 地域クラスター形成のための広報事業</li> <li>・ 地域科学技術振興施策と連動した地域独自の取組の促進 等</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>[主な指標・参考指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 優れた知的クラスターの拠点数</li> <li>・ 優れた都市エリアの拠点数</li> <li>・ 科学技術大綱等の策定を策定した都道府県・政令指定都市数 等</li> </ul> <p>※優れた知的クラスター及び都市エリアの数は、各事業での外部有識者による評価(中間評価、終了評価、事後評価)の結果に基づく。</p>	13,769,335

# 平成20年度文部科学省所管予算案における成果目標等

No.	政策名	成果目標	成果目標を達成するための手段	成果目標の達成度合いの事後的な評価方法	20年度予算額(千円)
24	VII-4 科学技術システム改革の先導	世界トップレベル国際研究拠点形成プログラム等の実施により、科学技術システム改革を先導する。 また、研究費配分における無駄の徹底排除及び研究費の不正使用等への対処により研究費を有効活用するとともに、評価システムの改革を進め、研究開発の効果的・効率的推進を図る。	施策を構成する事務・事業の遂行。  ・ 専門的知見に基づく研究開発評価環境の整備 ・ 世界トップレベル国際研究拠点形成促進プログラム ・ 研究開発管理システムの運営 ・ 科学技術振興調整費の活用 等	文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。  〔主な指標・参考指標〕 ・ 世界トップレベル研究者の人数 ・ 外国人研究者比率 ・ 分野別の論文被引用数 ・ 重複調査の実施割合 ・ 研究費の不正対策の検討回数 ・ 公募要領等への申請等資格制限適用の明記 ・ 研修等への参加者数 ・ 研修への参加者の満足度 ・ ワークショップへの参加者の満足度 ・ シンポジウムへの参加者の満足度 ・ ヒアリングの機関数 等	41,816,166
25	VII-5 科学技術の国際活動の戦略的推進	研究環境の国際化や人的ネットワークの拡大により、研究者の往来を増加させるとともに、持続的な国際共同研究体制の構築や人的ネットワークの拡大により、国際共同研究、研究成果の拡大を図る。	施策を構成する事務・事業の遂行。  ・ 大学国際戦略本部強化事業(研究環境の国際化の推進) ・ 生体機能国際協力基礎研究の推進 ・ 国際科学技術センターの地球規模問題研究 ・ 科学技術・学術に関する内外の動向調査・分析等 ・ 科学技術関連国際会議等の出席 等  入国管理制度、査証制度の問題において法務省、外務省に対して、外国人研究者受入れのためにより有効な制度の提案。 2国間での会合や科学技術協力協定に基づく科学技術合同委員会を通じた関係の強化や、多国間の枠組みの政府間会合等の政府レベルの対話についても一層積極的な取組。	文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。  〔主な指標・参考指標〕 ・ 研究者受入人数 ・ アジアの研究者受入人数 ・ アジアの研究者派遣人数 ・ JSTと海外助成機関との覚書数 等	3,163,770
26	VIII-1 原子力安全対策、核物質の防護及び転用の防止、並びに環境放射能の把握	原子力の研究開発利用活動による災害及び放射線による障害を防止し、公共の安全を確保するため安全規制を行うとともに、核物質の適正な計量と管理を行うことにより、その平和利用を確保する。国民の信頼を得るために安全規制活動等の透明性を確保する。	施策を構成する事務・事業の遂行。  ・ 原子力施設の安全規制 ・ 原子力の安全・防災対策 ・ 保障措置の実施 ・ 安全規制行政の効率的推進 ・ 放射能調査研究 等	文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。  〔主な指標・参考指標〕 ・ 原子力災害の発生件数 ・ 核燃料物質に係る防護を破る盗取件数及び妨害破壊行為件数 ・ 核物質が核兵器等に転用されていないことが確認できず、疑義が発生した件数 ・ ホームページへのアクセス件数 等	4,937,005
27	IX-1 学術研究の振興	研究者の自由な発想に基づく学術研究について、新しい知を生み続ける重厚な知的蓄積を形成することを目指し、萌芽段階からの多様な研究や時流に流されない普遍的な知の探求を長期的視点の下で振興する。	施策を構成する事務・事業の遂行。  ・ 科学研究費補助金 ・ 政策や社会の要請に対応した人文・社会科学研究推進事業 ・ 人文学及び社会科学における共同研究拠点の整備の推進事業 等	文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。  〔主な指標・参考指標〕 ・ 学術研究に関する競争的資金の予算額(科学研究費補助金) ・ 外部有識者等の評価により適切と判断された研究課題数 ・ 共同研究拠点の整備数 ・ 論文・著書等の研究業績の発表状況 等	194,370,858

# 平成20年度文部科学省所管予算案における成果目標等

No.	政策名	成果目標	成果目標を達成するための手段	成果目標の達成度合いの事後的な評価方法	20年度予算額(千円)
28	IX-2 研究成果の創出と産学官連携などによる社会還元のための仕組みの強化	研究開発の成果をイノベーションを通じて社会的価値として発現させる努力を強化するとともに、世界最高水準の研究成果や、新たなブレークスルーをもたらす優れた研究成果を生み出し、社会・国民に成果を還元する。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戦略的創造研究推進事業</li> <li>・ 産学官連携戦略展開事業</li> <li>・ 産学共同シーズイノベーション事業</li> <li>・ 独創的シーズ展開事業</li> <li>・ 技術移転支援センター事業 等</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>[主な指標・参考指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国立大学における特許取得件数</li> <li>・ 国立大学における特許出願件数</li> <li>・ 大学等研究成果に基づく特許実施件数</li> <li>・ 政策目的基礎研究を推進するための競争的資金の予算額 等</li> </ul>	2,923,969
29	IX-3 科学技術振興のための基盤の強化	独創的・先端的な研究開発を進めるため、研究施設・機器等の整備・共用等を通じた研究開発基盤の強化により、科学技術振興に寄与する。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究施設の共用によるイノベーション創出事業</li> <li>・ 特定先端大型研究施設の開発</li> <li>・ 特定先端大型研究施設の共用の促進</li> <li>・ 特定先端大型研究施設整備</li> <li>・ 先端計測分析技術・機器開発事業 等</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>[主な指標・参考指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 独立行政法人等の研究機関における知的基盤整備状況</li> <li>・ 先端研究施設の産業利用率 等</li> </ul>	30,389,483
30	X-1 ライフサイエンス分野の研究開発の重点的推進	「生命現象の統合的全体像の理解」を目指した研究を推進するとともに「研究成果の実用化のための橋渡し」を特に重視し、国民への成果還元を抜本的に強化する。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ターゲットタンパク研究プログラム</li> <li>・ 脳科学研究戦略推進プログラム</li> <li>・ 再生医療の実現化プロジェクト</li> <li>・ 個人の遺伝情報に応じた医療の実現プロジェクト(第2期)</li> <li>・ 新興・再興感染症研究拠点形成プログラム 等</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>[主な指標・参考指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特許出願の進捗状況</li> <li>・ 再生医療関連技術開発の進捗状況</li> <li>・ 患者臨床データベースの整備状況</li> <li>・ 研究体制の整備の進捗度合い 等</li> </ul>	21,850,348
31	X-2 情報通信分野の研究開発の重点的推進	先端的な情報科学技術の研究開発及び研究開発に関する情報化を推進する。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次世代IT基盤構築のための研究開発</li> <li>・ 知的資産の電子的な保存・活用を支援するソフトウェア技術基盤の構築 等</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>[主な指標・参考指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スーパーSINETのノード(接続拠点)数 等</li> </ul>	1,631,516
32	X-3 環境・海洋分野の研究開発の重点的推進	地球温暖化、水循環、資源循環、有害化学物質等の地球環境問題は、我々人類の社会生活と密接な関連を有し、重大な影響を及ぼす恐れがあることから、総合科学技術会議の環境分野推進戦略や地球観測の推進戦略を受け、その影響を科学的に解明し、適切な対応を図るための研究開発成果を生み出す。また、地球全表面の7割を占め、多様な資源・空間を有する海洋に関する調査研究を行うことで、気候変動、地殻変動等の地球変動現象を解明し、国民生活の質の向上など経済社会への貢献を目指す。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海洋資源の利用促進に向けた基盤ツール開発プログラム</li> <li>・ 21世紀気候変動予測革新プログラム</li> <li>・ 地球環境遠隔探査技術等の推進</li> <li>・ データ統合・解析システム</li> <li>・ 南極地域観測事業</li> <li>・ 南極地域観測船建造 等</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>[主な指標・参考指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ GEOSS構築推進に貢献する観測研究・技術開発の進捗状況</li> <li>・ アルゴフロートの投入数</li> <li>・ 気候変動予測にかかるモデル開発およびシミュレーション技術開発等の進捗状況</li> <li>・ 地球内部構造イメージングの進捗状況</li> <li>・ 深海微生物の保存菌株数</li> <li>・ ドームふじ氷床深層掘削計画における氷床コア採取距離等の進捗状況 等</li> </ul>	18,343,640

# 平成20年度文部科学省所管予算案における成果目標等

No.	政策名	成果目標	成果目標を達成するための手段	成果目標の達成度合いの事後的な評価方法	20年度予算額(千円)	
33	X-4 ナノテクノロジー・材料分野の研究開発の重点的推進	ナノテクノロジーに関して、我が国における産学官の英知を結集した戦略的な取組みを行うと共に、物質・材料に関して、重点的に投資を行うことにより、総合的かつ戦略的な研究開発を進め、世界に先駆け技術革新につながる成果を創出する。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>物質・材料研究交流推進のための専門家派遣</li> <li>ナノテクノロジー・材料を中心とした融合新興分野研究開発</li> <li>ナノ計測・加工技術の実用化開発</li> <li>物質・材料科学技術研究開発の総合的推進 等</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>[主な指標・参考指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ナノテクノロジー総合支援プロジェクト関連支援件数</li> <li>ナノテクノロジー総合支援プロジェクト関連論文・研究発表数</li> <li>ナノテクノロジー総合シンポジウム参加者数</li> <li>ナノテクノロジーを活用した新しい原理のデバイス開発プロジェクト関連論文・研究発表数</li> <li>ナノテクノロジーを活用した人工臓器の開発プロジェクト関連論文・研究発表数</li> <li>超高感度NMRの開発プロジェクト関連論文・研究発表数</li> <li>次世代型燃料電池プロジェクト関連論文数・研究発表数</li> <li>極端紫外(EUV)光源開発等の先進半導体製造技術プロジェクト関連論文・研究発表数</li> <li>分野別バーチャルラボにおける論文数</li> <li>X線自由電子レーザー装置の整備進捗度 等</li> </ul>	2,375,466	
34	X-5 原子力分野の研究・開発・利用の推進	長期的なエネルギーの安定供給、原子力を利用する先端科学技術の発展、国民生活の質の向上に向けて、原子力の多様な可能性を最大限引き出す研究開発成果を得る。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際熱核融合実験炉計画の推進</li> <li>地域共生への取組</li> <li>環境安全対策</li> <li>原子力人材育成プログラム</li> <li>原子力カンステム研究開発 等</li> </ul> <p>科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会原子力分野の研究開発に関する委員会において審議。 原子力委員会や経済産業省との連携。 国際会議等に出席し、原子力国際協力の推進。 「原子力損害の賠償に関する法律及び原子力損害賠償に関する法律施行令」により、事業者の円滑な活動を支援。</p>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>[主な指標・参考指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>重粒子線がん治療の治療患者数</li> <li>重イオン加速器施設における共同実験者数</li> <li>中性子の利用状況(JRR-3の例(実際の延べ利用日数)/(申請のあった延べ利用日数)) 等</li> </ul>	<p>内訳 (一般会計) 7,477,211 (エネルギー対策特別会計) 36,706,180</p>	44,183,391
35	X-6 宇宙・航空分野の研究・開発・利用の推進	宇宙・航空分野の研究・開発・利用を積極的に推進することにより、国民生活の豊かさや質の向上、人類社会の持続的な発展への貢献、先端技術開発による産業基盤の強化と経済発展、人類の知的好奇心の追求、及び我が国の総合的な安全保障への貢献を目指す。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際宇宙ステーション計画の推進</li> <li>地球観測衛星の開発 等</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>[主な指標・参考指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>H-II Aロケット打上げ成功率</li> <li>JAXAが開発し上げた衛星の状況</li> <li>広報・普及活動の実施状況 等</li> </ul>	51,058,648	
36	X-7 新興・融合領域の研究開発の推進	幅広い応用可能性を有する新たな先端的融合領域や人文・社会分野における融合的な研究を積極的に発掘し推進することにより、我が国の科学技術・学術の高度化・多様化、ひいては社会ニーズへの対応と経済社会の発展を図る。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>[主な指標・参考指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1拠点あたりの連携研究機関数</li> <li>1拠点当たりの参加研究者・技術者数</li> </ul>	1,503,952	



# 平成20年度文部科学省所管予算案における成果目標等

No.	政策名	成果目標	成果目標を達成するための手段	成果目標の達成度合いの 事後的な評価方法	20年度 予算額(千円)
37	X-8 安全・安心な社会の構築に資する科学技術の推進	豊かで安全・安心で快適な社会を実現するための研究開発等を行い、これらの成果を社会に還元する。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 首都直下地震防災・減災特別プロジェクト</li> <li>・ ひずみ集中帯の重点的調査観測・研究</li> <li>・ 東海・東南海・南海地震の運動性評価研究</li> <li>・ 地震・津波観測監視システム</li> <li>・ 地震調査研究の推進</li> <li>・ 安全・安心科学技術プロジェクト 等</li> </ul> <p>地震調査研究推進本部が策定した「地震調査研究の推進について」や「今後の重点的調査観測について」等を踏まえ、関係機関との連携を図る。 平成19年4月に警察庁と「テロ・犯罪対策のための研究開発推進会議」を設置するなど、関係省庁との連携を図る。</p>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>〔主な指標・参考指標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究課題の進捗率</li> <li>・ 安心・安全に係る課題の解決に向けた科学技術的知見を現場で活用するための体制の整備状況及び当該知見の現場での活用状況等</li> </ul>	5,644,609
38	XI-1 子どもの体力の向上	児童生徒の健やかな心と体をはぐくみ、生涯にわたってスポーツに親しむ資質能力を育てるため、子どもの体力の向上や学校体育の充実を図る。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ トップアスリート派遣指導事業</li> <li>・ 子どもの体力向上地域連携強化事業</li> <li>・ 児童生徒の体力・運動能力向上に向けた調査分析</li> <li>・ 緑のグラウンド維持活用推進事業</li> <li>・ 地域スポーツ人材の活用実践支援事業 等</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>〔主な指標・参考指標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体力・運動能力調査の結果</li> <li>・ 「今の子どものスポーツ環境の変化」に関するアンケート:「よくなった」、「悪くなった」と回答した者の割合</li> <li>・ 研修受講者アンケート</li> <li>・ 運動部参加率(中学校、高校)</li> <li>・ 外部指導者数(中学校) 等</li> </ul>	1,507,531  (105,620,350)の内数
39	XI-2 生涯スポーツ社会の実現	国民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現するための諸施策を実施する。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合型スポーツクラブ育成推進事業</li> <li>・ 総合型地域スポーツクラブを核とした活力ある地域づくり推進事業</li> <li>・ スポーツ指導者の養成・活用の推進</li> <li>・ 全国スポーツ・レクリエーション祭の開催事業</li> <li>・ 国民健康体力増強対策事業 等</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>〔主な指標・参考指標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合型地域スポーツクラブが育成されている市区町村の割合</li> <li>・ 全国スポーツ・レクリエーション祭への参加者数(選手・監督)</li> <li>・ 県外参加者アンケート結果「特別行事」</li> <li>・ 県外参加者アンケート結果「種目別大会」</li> <li>・ スポーツ指導者の養成・活用に関する実践的調査研究の各委託地域における実施状況 等</li> </ul>	1,226,065
40	XI-3 我が国の国際競技力の向上	平成22年までにオリンピック競技大会におけるメダル獲得率3.5%を実現する。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設高機能化事業</li> <li>・ ドーピング防止活動推進事業</li> <li>・ 国民体育大会開催事業(地方スポーツ振興費補助)</li> <li>・ 日本体育協会補助</li> <li>・ 日本オリンピック委員会補助 等</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>〔主な指標・参考指標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オリンピック競技大会(冬季大会を含む)における日本選手団のメダル獲得率</li> <li>・ 競技者育成プログラムを作成した競技団体数</li> <li>・ ナショナルトレーニングセンター(NTC)の整備の進捗状況</li> <li>・ 専任コーチ設置団体数</li> <li>・ 専門的な技術指導を行うことができる指導者の数</li> <li>・ 高度な専門的能力を有する指導者を養成・確保するための研修制度の確立状況</li> <li>・ トータルスポーツクリニック(TSC)事業の対象競技団体数及び医・科学研究事業と連携している競技団体数</li> <li>・ トップレベルの選手に対する国内外での強化合宿開催数 等</li> </ul>	5,156,689

# 平成20年度文部科学省所管予算案における成果目標等

No.	政策名	成果目標	成果目標を達成するための手段	成果目標の達成度合いの事後的な評価方法	20年度予算額(千円)
41	XII-1 芸術文化の振興	優れた文化芸術への支援、新進芸術家の人材育成、子どもの文化芸術普及活動、地域における文化芸術活動の推進等を通じて、我が国の芸術文化活動水準の向上を図るとともに、国民全体が、芸術文化活動に参加できる環境を整備する。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 芸術創造活動戦略的支援事業</li> <li>・ 芸術拠点形成事業</li> <li>・ 芸術団体人材育成支援事業</li> <li>・ 本物の舞台芸術に触れる機会の確保</li> <li>・ 舞台芸術の魅力発見事業 等</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>[主な指標・参考指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 芸術創造活動戦略的支援事業の支援団体数</li> <li>・ 芸術拠点形成事業の支援団体数</li> <li>・ 新進芸術家海外留学制度の留学支援人数</li> <li>・ 芸術団体人材育成支援事業の支援件数</li> <li>・ 子どもが芸術文化に触れる機会を確保した公立文化施設の数</li> <li>・ 子どもが芸術文化に触れる機会を確保した学校の数</li> <li>・ 「文化芸術による創造のまち」支援事業において支援した地域数等</li> </ul>	16,112,677
42	XII-2 文化財の保存及び活用の充実	貴重な国民的財産である文化財を適切に保存し、次世代へ継承するとともに、積極的な公開・活用を通じて、広く国民が文化財に親しみ、その価値への理解を深めるようにする。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国宝重要文化財等の買上げ</li> <li>・ 文化財の保存修理等</li> <li>・ 史跡等整備活用事業</li> <li>・ 埋蔵文化財発掘調査等</li> <li>・ 史跡等の買上げ</li> <li>・ 文化財総合的把握モデル事業 等</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>[主な指標・参考指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国指定等文化財のうち近代の分野の割合</li> <li>・ 史跡等の公有地の割合</li> <li>・ システム開発(情報検索及び情報収集システムの改良)及び英語試行版公開の進捗状況並びに画像提供又はリンク参加館数</li> <li>・ 公開承認施設のうち、文化財の保存・活用に関する研修会の修了者が1名以上いる割合</li> <li>・ 文化財行政講座の受講者アンケートで、受講して大変参考になった・参考になったと回答した人の割合 等</li> </ul>	41,949,120
43	XII-3 日本文化の発信及び国際文化交流の推進	文化芸術振興、文化財保護等の分野における国際文化交流の取組を推進することにより、我が国の文化芸術活動の水準を向上し、文化を通じて国際社会に貢献し、諸外国との相互理解の増進を図る。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生国際文化交流事業</li> <li>・ 文化遺産保護国際貢献事業</li> <li>・ 芸術家・文化人等による文化発信推進事—文化庁「文化交流使」の派遣等—</li> <li>・ 現代日本文学翻訳・普及事業</li> <li>・ 優れた芸術の国際交流 等</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>[主な指標・参考指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化交流使指名者数及び派遣国数</li> <li>・ 海外公演数及び共同制作公演数</li> <li>・ 緊急的文化遺産国際事業への支援数</li> <li>・ 国際シンポジウムの開催状況</li> <li>・ 文化遺産国際協力コンソーシアム支援数 等</li> </ul>	2,698,758
44	XII-4 文化芸術振興のための基盤の充実	高度化、多様化しつつある国民の文化への関心の高まりに応えるため、文化に関する総合的な情報システムの情報内容の充実と情報提供の充実を図る。また、文化活動を支える基盤として、国語の普及啓発や日本語教育の充実を図るとともに、著作権の適切な保護と公正な利用を図り、著作権制度の普及・啓発等を行う。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化政策情報システムの整備</li> <li>・ 情報化の進展に対応した著作権施策の推進</li> <li>・ 文化ボランティア活動推進事業</li> <li>・ 海賊版対策事業</li> <li>・ 「生活者としての外国人」のための日本語教育事業等</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>[主な指標・参考指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報提供システムへのアクセス数</li> <li>・ 国語問題研究協議会の実施状況</li> <li>・ 「言葉」について考える体験事業の未開催都道府県数及び参加者の満足度</li> <li>・ 日本語教育研究協議会の延べ参加者数及び参加都道府県の割合</li> <li>・ 著作権普及・啓発のための講習会等の開催箇所数と受講者数</li> <li>・ 著作権の講習会受講者の理解度</li> <li>・ 海賊版対策セミナー実施回数 等</li> </ul>	754,307

## 平成20年度文部科学省所管予算案における成果目標等

No.	政策名	成果目標	成果目標を達成するための手段	成果目標の達成度合いの事後的な評価方法	20年度予算額(千円)
45	XIII-1 国際交流の推進	諸外国との人材交流等を通じて、国際社会で活躍できる人材を育成するとともに、諸外国の人材育成に貢献し、我が国と諸外国との相互理解と友好親善に資する。	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学者・専門家交流事業</li> <li>・ 初等中等教職員招へい事業</li> <li>・ 日米教育交流計画分担金</li> <li>・ フルブライト・メモリアル・プログラム拠出金</li> <li>・ 外国人留学生等の受入 等</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>[主な指標・参考指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 我が国が受け入れている留学生数</li> <li>・ 短期留学推進制度(派遣)採択者数</li> <li>・ 長期海外留学支援(新規派遣者数)</li> <li>・ 私費外国人留学生等学習奨励費給付者数</li> <li>・ 日本留学試験の国内外実施都市数</li> <li>・ 日本留学試験の国内外受験者数</li> <li>・ 公的宿舎に入居している留学生数</li> <li>・ 諸外国との教職員等交流総数</li> <li>・ 諸外国との教職員等交流予定者総数</li> <li>・ 諸外国との教職員等交流実施率 等</li> </ul>	29,559,764
46	XIII-2 国際協力の推進	<p>開発途上国の貧困削減を進めるための最重要分野のひとつである教育分野に対して、国際教育協力懇談会(文部科学大臣の私的懇談会)における議論を踏まえつつ、わが国の経験と人材を活かした効果的な国際教育協力を実現させる。また、協力を携わった現職教員がコミュニケーション、異文化理解を身につけ、国際化のための素養を児童・生徒に波及的に広めることによって、わが国の「内なる国際化」を推進する。</p> <p>大学が有する「知」を活用した国際開発協力を効果的・効率的に進めるために、国際教育協力懇談会における議論を踏まえつつ、大学が組織として国際開発協力活動を行うための基盤を整備する。また、国際開発協力を携わる人材の育成・確保を図る。</p>	<p>施策を構成する事務・事業の遂行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本・OECD事業協力信託基金拠出金</li> <li>・ 日本・国連大学共同研究事業拠出金</li> <li>・ 国際協力イニシアティブ</li> <li>・ 持続可能な開発のための教育交流・協力信託基金拠出金</li> <li>・ ユネスコ活動の助成 等</li> </ul>	<p>文部科学省実績評価(平成20年度実績)等において事後評価。</p> <p>[主な指標・参考指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育経験・協力経験の整理・蓄積等成果の電子アーカイブスへの新規登録数の目標値比</li> <li>・ コミュニティ学習センター設置数の前年度比(アジア太平洋地域)</li> <li>・ 持続可能な開発のための教育(ESD)国内実施計画策定国(アジア太平洋地域)</li> <li>・ 大学の国際開発協力活動に関するセミナー参加者数の目標値比等</li> </ul>	1,524,711

※ 1. 上記成果目標は平成20年度予算政府案に基づいて作成されたものであり、今後変更もありうる。

2. 下段<>外書きは、複数施策に関連するもので総額の「内数」で表記している。

3. 各施策の予算額の内訳については、別紙「施策ごとの予算との対応について」のうち政策評価対象外(独立行政法人等運営費交付金、特会繰入等)を除いた額である。